

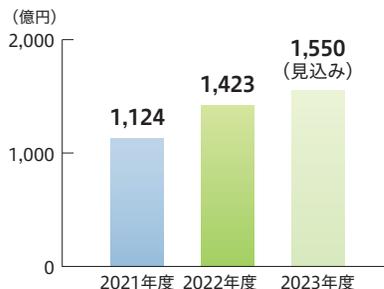
オブジーボが引き続き伸長

抗悪性腫瘍剤「オブジーボ点滴静注」は、胃がんや食道がん領域での使用が拡大し、2022年度の売上収益は



前年度比26.6%増の1,423億円となりました。2023年度におきましても、さらなる成長を見込んでいます。

〈オブジーボ 売上収益推移〉



フォーシーガなどその他の主要製品が堅調に推移

糖尿病、慢性心不全および慢性腎臓病治療剤「フォーシーガ錠」、抗悪性腫瘍剤「ベレキシブル錠」なども堅調に伸長しました。

なお、フォーシーガについては2023年1月より、慢性心不全の患者さんの使用できる範囲が広がり、左室駆出率を問わず慢性心不全の患者さんの治療薬として使用いただけるようになりました。

主な製品の売上収益と次期売上収益の見込み

製品名	2022年度 売上収益(実績) (億円)	対前期 増減率	2023年度 売上収益(見込み) (億円)	対前期 増減率
フォーシーガ錠	565	54.3%	650	15.0%
オレンシア皮下注	248	8.1%	255	3.0%
グラクティブ錠	225	△8.3%	210	△6.7%
カイクロリス点滴静注用	87	4.0%	85	△2.3%
パーサビブ静注透析用	84	△5.3%	80	△4.8%
ベレキシブル錠	85	36.2%	95	11.3%
オンジェンティス錠	50	72.9%	65	30.5%
オノアクト点滴静注用	45	△7.9%	45	0.4%
ビラフトビカプセル	32	18.2%	40	23.2%
メクトビ錠	25	13.4%	30	18.1%